

今年度も半分終わりです。日中はまだ暑さが残っていますが、朝晩は涼しさを感じられるようになりました。お正月に向かって災害がない落ち着いた年になると良いのですが。。

/// I N D E X ///

- ・ ISO 関連情報-----ISO14077 (LCA でのマスバランスモデルの適用) の作成が始まります。
- ・ LCA の実務 mini21----水資源の評価は、PEF では「消費」を数えます。
- ・ LCAF からお知らせ...LCAF オンライン研修
 - ・ 実務者研修①と②をオンラインで始めます。
 - ・ LCAF : LCA 初級検定試験 (10月) と LCAF オンライン中級研修 (11月) の受付を開始しました。
- ・ 編集後記.....猫のこと

■ ISO 関連情報 : ISO14077 (LCA でのマスバランスモデルの適用) が始まります。 ■

前号で、「ISO14077 (LCA でのマスバランスモデルの適用) の規格を作る作業を始めるかどうか投票中です」と書きました。賛成多数でこの規格作りが始まることになりました。反対は、日本、デンマーク、英国の3か国だけでした。

「マスバランスモデルは、現在は GHG だけのつもりで議論されているが、LCA は気候変動だけではなく人間健康や生態系への影響を評価するので、マスバランスモデル適用は困難」という理由で反対したのですが、何とか工夫できると思っている国が多いようです。それとも、いつものように良く考えないで賛成した国が多いのでしょうか。

マスバランスモデルの詳細版 ISO13662 を作る WG が先週に米国のニュージャージー州 (ニューヨークの南の州) であり、ISO 14077 の提案者である Ms. Julia Faber と今後の課題について意見交換しました。皆さんへの情報提供のために、私が会長を務めている LCA 日本フォーラムで、11月28日(木) 午後に「マスバランスモデル」のオンラインセミナーを開催することにしました。オンラインですが、ISO13662 の議長である Mr. Philippe Osset が登壇します。この日は米国はサンクスギビングの祝日なので Ms. Julia Faber の登壇はかないませんでした。ビデオで発表してくれることになりました。もう少しすると、詳細な案内が LCA 日本フォーラムのホームページ (<https://www.lca-forum.org/>) に掲載されます。注意して見てください。

■ LCA の実務 mini 21 : 水資源の評価は、PEF では「消費」を数えます。 ■

脱炭素ということでカーボンフットプリント (CFP) が着目されていますが、自然資本の評価で「水資源の利用」を評価することが多くなってきました。

水資源の評価方法には、①「バーチャルウォーター」、②Water Footprint Network グループの「ウォーターフットプリント」、③ISO14046 : 2014 (ウォーターフットプリント) があります。さらに、欧州の「環境フットプリント」では、③の中から水の希少性だけを取り出して評価します。以下に簡単に紹介します。

- ① バーチャルウォーター : もし輸入品を国内で生産していたらどのくらいの水が必要であったかという仮想的な水利用量を評価します。輸入する食品や衣類などを製造するまでに必要とされる水の量を計算します。
- ② Water Footprint Network グループの「ウォーターフットプリント」: グリーンウォーター (雨水由来の水)、ブルーウォーター (表層水や地下水などに由来する水)、グレーウォーター (汚染された水を環境基準など特定の水質にするために必要な希釈水) を、区別して評価します。グレーウォーターは、特定の水質にまで調整するのに必要な仮想的な水の利用量です。グリーンウォーターやブルーウォーターとは本質的に意味が異なる情報なので、その取扱には十分な注意が必要です。
- ③ ISO14046 : 2014 (ウォーターフットプリント) : LCA が基礎なので、水消費に起因する「影響」を「フットプリント」として評価します。#:水希少性フットプリント (water scarcity footprint)、#水利用可能性フットプリント (water availability footprint)、#水質劣化フットプリント (water footprints addressing water degradation) があり、これらをウォーターフットプリントプロファイル (water footprint profile) にまとめます。

欧州委員会 (EC) の「環境フットプリント」では、「水の消費量」を算定し、それぞれの流域 (国) での水不足の可能性 (水の希少性) を評価する係数を掛け算する「AWARE モデル」を使います。河川水 (表層水) や地下水の取水量からそれらを河川に戻した量を引いた、水の消費量 (蒸発量) を「消費量」とします。国ごとに水の希少性の係数が定められています。

「EC の環境フットプリント」の評価方法が、世界的に広まりつつあります。その是非の議論はさておいても、勉強が必要です。

■■ LCAF からのお知らせ : LCAF オンライン研修 ■■

○実務者研修①と②をオンラインで始めます。

LCAF では今まで、「LCAF オンライン初級研修」及び「LCAF オンライン中級研修」を実施してきましたが、この度、さらに詳細かつ実際の LCA の知識を求める方々を対象に、「LCAF オンライン実務者研修」を実施することといたしました。

今年、GHG 以外の環境影響を含んだ「EC の環境フットプリント」及び「ソーシャル LCA」の最新動向を紹介する「オンライン実務者研修①」とカーボンフットプリント (CFP) 及びライフサイクルアセスメント (LCA) に関する最近の ISO の動向を紹介する「オンライン実務者研修②」を実施します。

来年以降も、実務者の方の関心が高いテーマに絞って「オンライン実務者研修③～⑥」を積み重ね、対面での研修も含め LCA の実務者を育成する「実務者研修プログラム」を構築します。その第一歩として、「LCAF オンライン実務者研修①及び②」にぜひご参加ください。もうすぐ参加の受付を開始します。

○LCAF : LCA 初級検定試験 (10 月) と LCAF オンライン中級研修 (11 月) の受付を開始しました。

・LCAF : LCA 初級検定試験 10 月 26 日 (土)

お申し込みは https://lcaf.or.jp/education/test/arc_beginner/

・LCAF オンライン研修「中級 : LCA の実務」 11 月 13 日 (水) - 14 日 (木)

お申し込みは https://lcaf.or.jp/education/training/lca_middle/

・今年度の初級及び中級研修と検定試験の日程は以下をごらんください。

<https://lcaf.or.jp/education/>

○[再掲] 好評につき増刷します。参考図書「基礎から学ぶ LCA～LCA の実施と活用～」

以下からお申込みください。(3,000 円+税+送料) です。

<https://lcaf.or.jp/education/textbook/>

この参考図書の図表をパワポに貼り付けた資料の販売を始めました。価格は要相談です。

■■ 編集後記 : 猫のこと ■■

つくばにいた頃、私の研究室は本館から離れた棟の 1 階にあったので、しばしば野良猫が遊びにきました。私が餌をやっていたのを見ていたのでしょう。ある時、隣の研究室の秘書さんが、「私の家のプロパンガス庫の隅に子猫が二匹いるので助けてやって」とお願いに来ました。行ってみると既に 1 匹は死んでいて、残っている子猫を連れて帰りました。まだ生まれたばかりらしいので、スポイトでミルクをやり、筆でお尻を撫でて (母猫はお尻を舐めて便を促すそうです) 育てました。雄猫だったので、みい太郎と名付けました。田舎の猫の育て方しか知らないの、元気になってからは、人が食べるものはなんでもあげたので、アジの開きを焼いたのと、海苔とアイスクリーム (レデイボーデンとハーゲンダーツ限定) が好きな変な猫になりました。毎晩私の布団の上で寝るので、重かったことを覚えています。年を取って足が不自由になり、ある朝、寝ているように亡くなりました。14 歳でした。老衰と言われました。いろいろ食べさせたのがいけなかったのかと反省しました。東京育ちの人にはあきれられましたが、田舎でやっていたように、練馬の自宅の庭に穴を掘り、少しの花を添えて埋めました。

私の方が先に年寄りになり、世話ができなくなるとかわいそうなので、もう猫を飼うのはよそうと思っていたのですが、猫友達から「保護猫がいるので引き取って」と電話がかかってきました。大震災の翌年ですからもう 12 年も前のことです。練馬から木更津まで引き取りに行きました。保護猫を世話しているお宅で、20 匹くらいの大人の猫の中で、ひとときわ小さい、掌にのるくらいの雌猫でした。「みい」と名付け、ミルクと柔らかい餌で育てました。猫だけで暮らしていたので、私の膝にのるようになるまでにしばらくかかりました。我が家に来て 1 年ほどたった時に重い病気になり 1 週間くらい入院しました。獣医さんは毒物を食べたようだと言いますが、家の

中に毒物があるとは思えません。いまだもって、心当たりが全くありません。それ以来、赤い餌皿に入れたもの以外は全く食べなくなりました。でも、おなかがすくと、餌皿を前足でたたいて要求しますし、水は手ですくって飲む変な猫になりました。12歳で6.7kgの寝てばかりいるおばあさん猫です。みい太郎の時の反省があるので、猫用の餌だけを与えてきました。みい太郎よりも長生きしてほしいと思います。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

○LCAFの活動にご支援頂ける企業様に「賛同会員」としてのご参加をお願いしています。
<https://lcaf.or.jp/support-members/>
ご協力をお願い申し上げます。

○ご意見,ご感想,この「LCAF通信」の配信停止のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7 アルテール池袋 608

電子メール : lcaf-contact@lcaf.or.jp

URL:<https://lcaf.or.jp/>